

鳳凰山だより



第7号 令和5年2月27日

内容が interesting でした

午前中14会場で、2年普通科の40グループが1年間の研究成果を発表し、それを1・2年生が会場を自由に回って聞きました。1グループ11分間の発表・質疑応答を2回続けて行いました。

研究テーマは人文科学系、社会科学系、自然科学系の11分野に分かれています。

午後は能代高校東海林拓郎先生を講師にお招きして、オンライン発表会形式で普通科2グループ、理数科3グループの研究

2B1班 『ウケる恋愛小説』が知りたい！！

2D7班 睡眠時間と勉強効率の関係について

2H物理2班

テスラバルブの形状による効果の検討

2H化学1班 枝豆の殻の再利用について

2H情報2班

障害物を検出できる移動ロボットの作製を各教室で聞きました。

東海林先生から「2年生のプレゼンが1年生に理解できる内容で、1年生からも質問が多く印象的であった。プレゼンの仕方の工夫が随所にあってよかった。」ことが良い点であるが「全体的にもう少し根拠にこだわってほしい。」と講評いただきました。最後に校長から生徒に「今後とも探究活動を充実させ、皆さんで将来を切り開き発展させましょう。」とあいさつがありました。

普通科探究活動発表会

1月25日・理数科課題研究成果発表会



研究することは面白いと感じた 2月1日 大学模擬講義

大学模擬講義は、1・2年生が大学教員による講義を受け、学習への意欲を高めるとともに、自身のキャリアデザインを見つめ直すことを目的に行っています。

7大学の13名の先生方による13講座開きました。先生方の研究分野から「最新の考古科学が明らかにする私たちの歴史」「心臓病治療の最前線」「モビリティ電動化」などのテーマで90分の講義をしていただきました。

